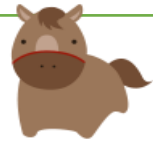




## 開田小学校だより



令和4年7月22日（金） 文責：北原 健吉



信州大学教職大学院 大畑先生を迎えての研修



3年生のイモリの学習を参観される大畑先生



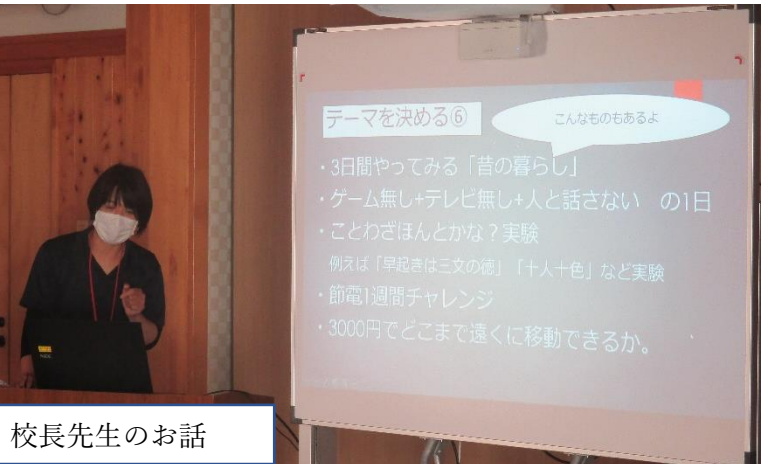
多目的室での講演

7月6日（水）に、信州大学教職大学院准教授の大畑先生をお迎えして、総合的な学習（開田科）についての研修会を行いました。実は、大畑先生は今から20年程前に、開田小学校で勤務されていました。開田にほれ込んでいる大畑先生は、ぜひ開田の子ども達に、開田高原のすばらしさに触れて欲しいという思いを強くもっていらっしゃいます。大畑先生の言葉をいくつか紹介します。「先生方も子ども達と一緒に活動を楽しむこと」「子ども達は先のことを思い描いている。夢の設計図を描いている」「中学年はとかく人間同士のトラブルがあるが、材（物やこと）を通して関わることで、友だちと仲良くなれる」「今を大事に」「まだ見ぬ開田の良さを開拓して欲しい」

開田高原の素晴らしい自然や人と関わる中で子ども達と一緒に先生方も成長できる学習が開田科なんだと改めて気づかされました。大畑先生の熱い思いに触れ、開田小学校の先生方の熱もぐっと高くなってきた気がしました。

### 7月7日（木） 校長講話と栗空さんのお話

栗空さんのお話



校長先生のお話

7月7日（木）の朝の時間に、校長講話がありました。今回は校長先生のお話の前に、健康ラボの栗空さんがおいでになり、健康ラボの活動について紹介されました。学校からも近い上に、栗空さんや田上さんは陸上や、スポーツクラブの指導でよく学校にきてくださるので、子ども達もみんな良く知っています。またラボに行って遊んだことがある人も

多いと思います。この日のお話の中では夏休みに行われるラボのイベントの紹介もありました。「多くの人に開田高原の自然と親しみながら体力向上してもらいたい」栗空さんの思いがひしひしと伝わってきました。

校長先生からは、夏休みの自由研究についてのお話がありました。こちら栗空さんに負けない「やりたい、しりたい、たのしい そんな探究（一研究）をしましょう。そのためにたくさんサポートします」という熱い思いが込められていました。今年の夏は熱い、開田になりそうです。

## 7月8日（金）参観日ありがとうございました。



5年生：理科の授業

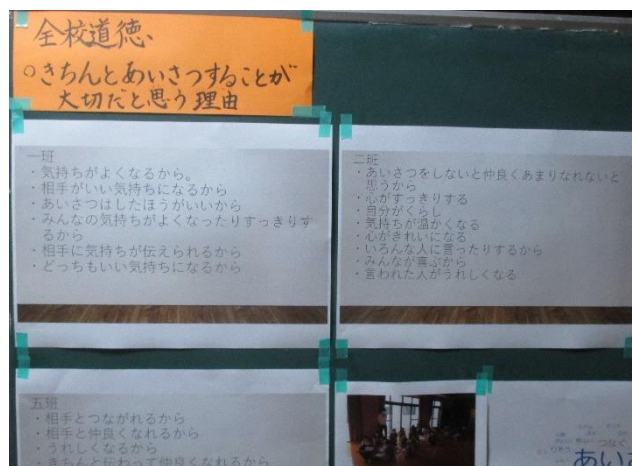


6年生：社会の授業

7月8日（金）に参観日が行われました。1年生は先生から出された課題を親子でクリアするミッションクリア型授業、2年生は生活科の船作り、3年生は「自分だけのイモリ」の授業、4年生は親子で協力してプラネタリウム作りを行いました。5年生と6年生は今年の新しい取り組みである部分的専科授業ということで、5年と6年の担任の得意な教科を交換して授業を行っていました。5年生はメダカの卵の発生の順番を考える授業、6年生は弥生時代から飛鳥時代にかけて、聖徳太子という人物を通して歴史を学習していました。先生方のチャレンジ精神に心からありがたいと思いました。5、6年生にとって深い学びにつながることを期待しています。参観の後は、学級懇談会でした。

校長先生からは暴力事案、いじめアンケートの結果を切り口に子育てについてお話がありました。教頭からは、タブレットの持ち帰りに際し、家庭、子ども、学校が協力してみんなが納得できる利用方法について考えていくことが提案されました。どちらも正解はありません。だからこそ“対話”がキーワードになります。家族で話し合いながら、すり合わせていくこと、実施しながら改善を進めていくことが大事なんだと思います。

## 7月12日（火） 全校道徳



7月12日（火）5時間目に全校道徳を行いました。「きちんとあいさつをする」ことについて、縦割り班で考えました。6年生が司会進行、5年生にロイロノートで記録をお願い

いしました。「きちんとあいさつする」ことの大切さについて各班でまとめてもらいました。いくつか紹介します。

- ・みんなの気持ちがよくなったりすっきりするから
- ・あいさつをしないと仲良くあまりなれないと思うから
- ・気持ちが温かくなる
- ・心がきれいになる
- ・みんなが喜ぶから。言われた人がうれしくなる。人を明るくできるから
- ・相手も自分も元気になるから
- ・相手に自分の気持ちを伝える。きちんと伝わって仲良くなれるから
- ・あいさつを返さないと相手が嫌な気分になりそう
- ・いい1日にする大事な一歩だから
- ・相手とつながれるから

きちんとあいさつすることの可能性を子どもたちの意見から学ばせてもらうことができました。開田小学校でお互いが気持ちよく過ごせるあいさつをひろげていきたいと思いました。

## 7月14日（木） パワーアップタイム



7月14日（木）に第三回パワーアップタイムが行われました。今回は「か」のつく食べ物と、「さ」のつく言葉集めをしました。真剣に考えるチームと、和気あいあいと楽しく言葉を出し合うチームとありました。回数を重ねていき、自分で考え、人に自分の考えを伝え、みんなで考え合える、開田小学校にしていきたいと思えます。

### 連絡1 夏休み中について

72日間の一学期が終了しました。明日から夏休みに入ります。**大きな事故、怪我、入院、新型コロナウイルス感染などの場合は学校までご連絡**をお願いします。（電話 0264-42-3221）なお、土日祝日、夜間で緊急に連絡が必要なことがございましたら、学校公用携帯（070-1044-3253）までご連絡をお願いします。

校長先生がよく言われる“ふるさと原体験”がたくさんできる、そんな夏休みをすごしていただけたら幸いです。よいお休みをおとりください。そして8月23日（火）にみんなで元気に会えることを楽しみにしています。

### 連絡2 タブレット（+電源コード）の夏休み持ち帰りについて

夏休みは全学年タブレットの持ち帰りを行います。主に夏休みの自由研究の記録（写真）やまとめに使っていただけたらと考えます（強制ではありません）。なお、低学年は使用に慣れていません。必要があれば、使い方などお子さんに教えていただけたらありがたいです。なおご不明な点があれば、学校までお問合せください。



## 夏休みは、自由研究で探究学習を

夏休みを前に、自由研究ガイダンスを全学級に行いました。私の専門が理科であり、今の時代の子どもたちにとって、<自分の学びたいことを自分の好きな方法で学ぶ>=『探究学習』がとても大切だと思うからです。さて、以下の4つの文を良い順に並べてください。

- 1 理科が好きで できる (わかる)
- 2 理科はきらいだけど できる (わかる)
- 3 理科は好きだけど できない (わからない)
- 4 理科はきらいで できない (わからない)

学校では、どんな子どもを育てるべきでしょうか。良い方から、1, 2, 3, 4でしょうか。「できる」を上位とした考え方です。ちがいます。じゃあ、1, 3, 2, 4でしょうか。「好き」の方が大事ですが、これもちがいます。いちばんよくないのは4ではありません。

この中で、いちばん悪いのはまちががなく2です。2の子どもは、理科の問題を解ける、テストで点をとれる。(研究をうまくまとめられる)。そのせいで理科とはこういう勉強だと知り、理科がきらいなのです。日本は、こういう子どもをつくってきたきらいがあります。日本には、古くから『科学展』と言うものがあり、多くの学校で模造紙に理科の一研究をまとめさせ、それを出展させていました。これも理科嫌いをつくってきたと思われまます。それが証拠に、本校の5, 6年生に「理科の一研究、嫌いな人」と尋ねると見事にほとんどの児童の手が挙がりました。自由研究ではなく「不自由研究」です。

「理科はきらいだけどできる」と考える子どもは、理科の、あるいは勉強の楽しさや価値を、学校の授業(多分テストや受験や自由研究)のせいで、見失ってしまった子どもです。

1~4の「理科」をほかの教科や運動や図工に。「できる・できない」を「上手・下手」におきかえてもよいでしょう。学校や親が、子どものやる気や探究心を奪っていないかを心配しなければなりません。「きらいでできない」という子は救いがあります。理科を好きにさせてあげることは、わりに簡単です。「理科の概念」をこわすには「できない」と思っている人の方が簡単です。理科にできる・できないはないのです。

小さな子どもには間違いなく生まれながらの好奇心や探究心があります。未知なることを知りたい気持ちがあり、絵を描くことが好きで、体を動かすことが好きなのです。遊びはもちろん、運動も勉強も大好きなのです。はたして、ガイダンス授業では、小さい学年の児童ほど、「これをやりたい」「これをつくりたい」「こっちも知りたい」とどんどん探究をはじめました。こうした子どもの中に本来ある学びたい気持ちを、思い切り発揮させるという営みが教育です。

夏休み、思い切り楽しんで研究してください。くれぐれも、研究しないお子さんを叱ったり、子どもそっちのけで、きれいにまとめるために親が必死になるということがないようにお願いします(ありがたいですが…笑)。

<校長先生の夏休みおすすめ行事> 他にも地域のいろんな行事があります。

- 7月24日(日) 木曾馬の里でそばまき
- 26日(火) イワナつかみ大会&開田小応援団駄菓子屋横丁
- 27日(水) 町図書館宿題おたすけそうだん隊
- 30日(土), 11日(祝) キッズわくわくの森(ラボ)
- 31日(日) 陸上競技大会
- 8月1日~4日 学校プール開放
- 2, 15, 17日 自由研究相談日
- 6日(土) 東京大学木曾観測所施設公開&観望会
- 11日(祝) 木曾町環境マスター(水生昆虫)
- 12日(金)~14日(日) 森あそび3days(ラボ)
- 17日(水) 森の自然体験(ラボ)
- 20日(土) お山のことを親子で学ぼう(御嶽山ビジターセンター)
- 21日(日) 森の参観日(ラボ)
- 26日(金)~28日(日) 木曾音楽祭